

第41回「秋田県内企業の景気動向調査」結果

(2021年8月調査)

～ 景況感は4期連続で改善。先行きは慎重な見通し ～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が0.2（前回調査比8.7ポイント上昇）と、前年の大幅な悪化の反動もあり、4期連続での改善となった。「各種DI値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」は改善した一方、「資金繰り」は小幅ながら悪化し、「人員人手」は3期ぶりにプラス幅が拡大した。
- **業種別**に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業とサービス業では4期連続で改善、製造業でも3期連続で改善と、3業種で改善となった一方、卸・小売業では4期ぶりの悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県北が▲11.4（前回調査比8.0ポイント上昇）、中央が7.0（同6.5ポイント上昇）、県南が▲5.7（同11.6ポイント上昇）とすべての地域で改善となり、中央ではプラス幅が拡大した。
- **先行き見通し**は、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲15.1（今回調査比15.3ポイント下落）と悪化が見込まれている。

【 特別調査 】

- **今年度の設備投資動向**についてうかがったところ、今年度中に設備投資を「実施する（した）」と回答した企業の割合は40.9%（昨年度比1.7ポイント上昇）と、2期ぶりに上昇した。
設備投資を「実施する（した）」と回答した企業1社あたりの平均投資額（予定含む）は5,690万円で、昨年度の調査時点に比べて2,920万円減少した。

2021年9月

株式会社フィデア情報総研

目次

I. 県内企業の業況	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別DI値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	4
③ 卸・小売業	5
④ サービス業	6
3. 地域別の動向	7
(1) 地域別の概況	7
(2) 地域別DI値の動向	8
① 県北	8
② 中央	9
③ 県南	10
II. 景気の天気予報図	11
III. 特別調査	12
1. 今年度の設備投資動向	12
(1) 設備投資動向	12
(2) 設備投資金額	14
(3) 設備投資目的	15
<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>	17
<参考資料Ⅱ：調査の概要>	17

I. 県内企業の業況

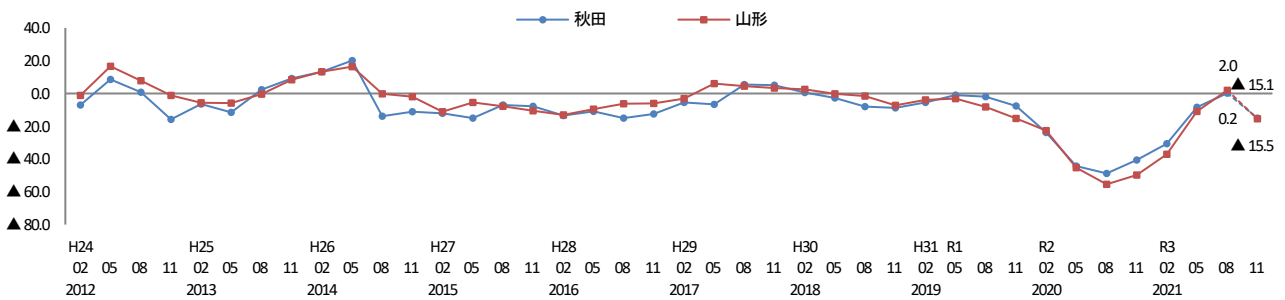
1. 概況

～ 景況感は4期連続で改善。先行きは慎重な見通し ～

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が0.2（前回調査比8.7ポイント上昇）と、前年の大幅な悪化の反動もあり、4期連続での改善となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「売上高」「営業利益」は改善した一方、「資金繰り」は小幅ながら悪化し、「人員人手」は3期ぶりにプラス幅が拡大した。新型コロナウイルス感染症の影響は依然色濃く残るものの、持ち直しの動きが続いている。

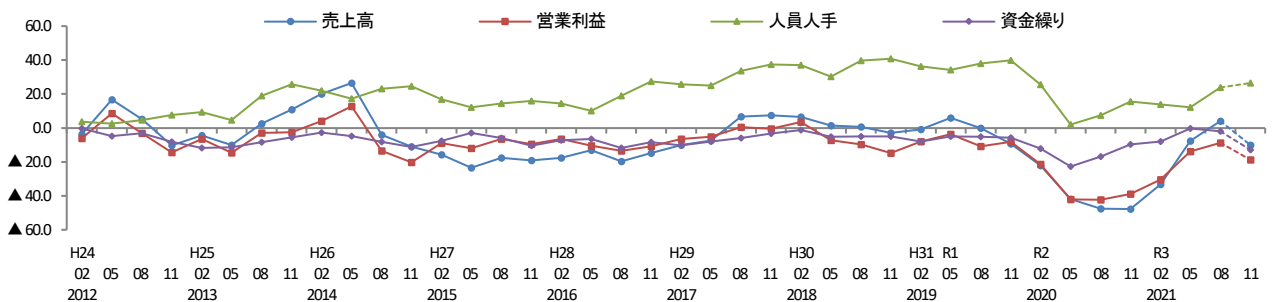
先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲15.1（今回調査比15.3ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表1 全業種「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表2 全業種「各種D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況D I 値

全業種 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2020.08 (n=362)	▲ 48.9	▲ 4.6	▲ 54.9	▲ 47.5	▲ 42.3	7.4	▲ 16.8
2020.11 (n=355)	▲ 40.6	8.3	▲ 49.1	▲ 47.6	▲ 38.8	15.5	▲ 9.6
2021.02 (n=368)	▲ 30.7	9.9	▲ 31.6	▲ 33.2	▲ 30.4	13.9	▲ 7.9
2021.05 (n=378)	▲ 8.5	22.2	▲ 37.8	▲ 7.6	▲ 13.8	12.2	▲ 0.2
2021.08 (n=364)	0.2	(8.7)	▲ 22.8	4.1	▲ 8.8	23.9	▲ 1.9
前回調査比	-	-	-	(11.7)	(5.0)	(11.7)	(▲ 1.7)
先行き見通し	▲ 15.1	-	-	▲ 10.1	▲ 18.7	26.4	▲ 12.9
今回調査比	(▲ 15.3)	-	-	(▲ 14.2)	(▲ 9.9)	(2.5)	(▲ 11.0)

※ 「売上高」D I 値は、建設業の「完成工事高」を含んだ値。

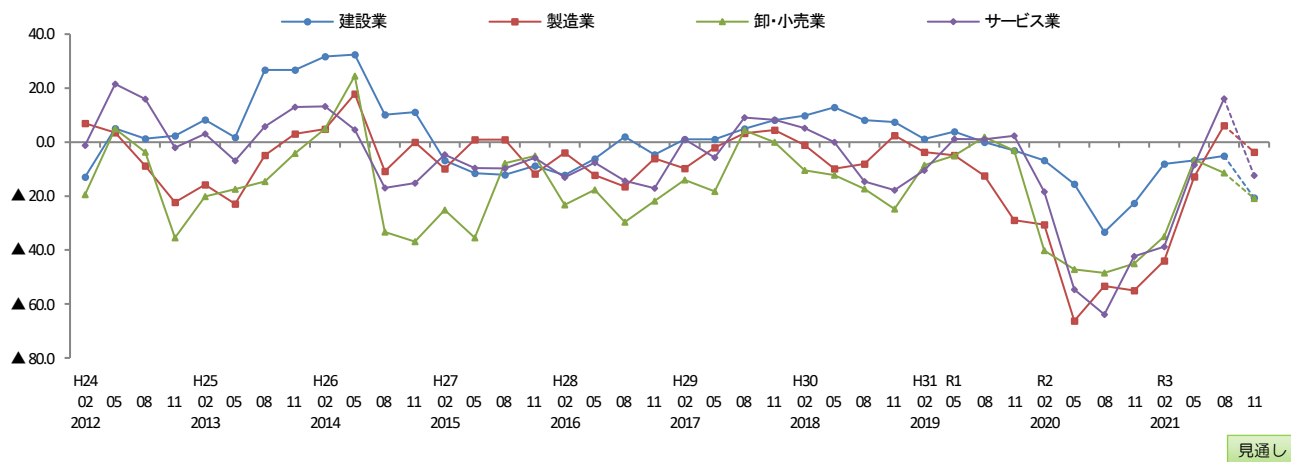
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況D I 値（前年同期比）」をみると、建設業とサービス業では4期連続で改善、製造業でも3期連続で改善と、3業種で改善となった一方、卸・小売業では4期ぶりの悪化となった。

業況の先行き見通しは、4業種すべてで悪化の見通しとなっている。

図表 3 業種別「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
2020.08 (n=362)	▲ 48.9	▲ 33.3	▲ 53.3	▲ 48.5	▲ 63.9
2020.11 (n=355)	▲ 40.6	▲ 22.7	▲ 55.0	▲ 45.0	▲ 42.3
2021.02 (n=368)	▲ 30.7	▲ 8.1	▲ 44.0	▲ 35.0	▲ 38.8
2021.05 (n=378)	▲ 8.5	▲ 6.8	▲ 12.8	▲ 6.5	▲ 8.4
2021.08 (n=364)	0.2	▲ 5.1	6.1	▲ 11.4	16.1
前回調査比	(8.7)	(1.7)	(18.9)	(▲ 4.9)	(24.5)
先行き見通し	▲ 15.1	▲ 20.7	▲ 3.7	▲ 20.9	▲ 12.3
今回調査比	(▲ 15.3)	(▲ 15.6)	(▲ 9.8)	(▲ 9.5)	(▲ 28.4)

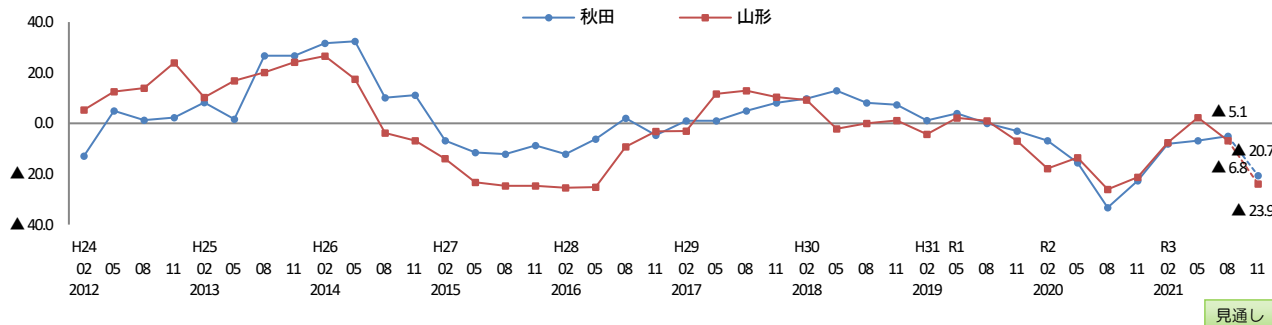
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

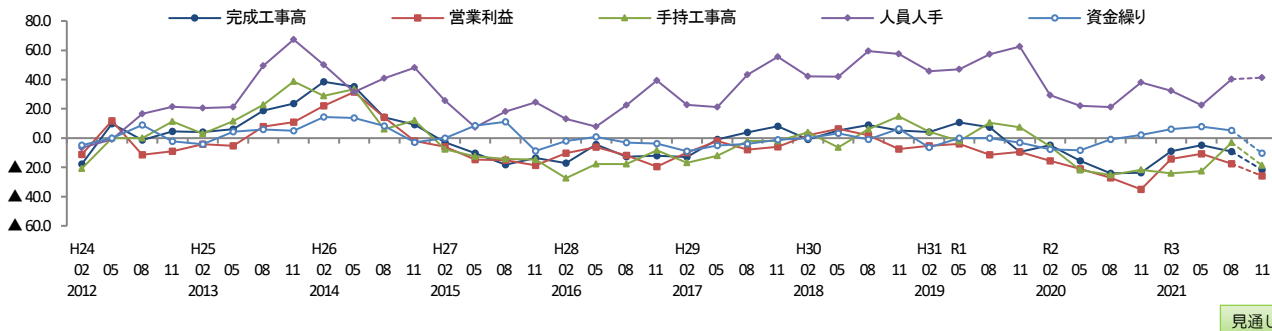
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲5.1（前回調査比 1.7 ポイント上昇）と、小幅ながら 4 期連続で改善した。「各種 D I 値（前年同期比）」では、「完成工事高」「営業利益」「資金繰り」がいずれも悪化となった一方、「手持工事高」は改善となった。また、「人員人手」は 3 期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、ウッドショックの影響による木材の価格上昇や供給の遅れのほか、資材・燃料価格の上昇が見られたものの、総じてみれば公共工事は底堅く推移し、民間需要についても堅調な動きがうかがえた。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲20.7（今回調査比 15.6 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

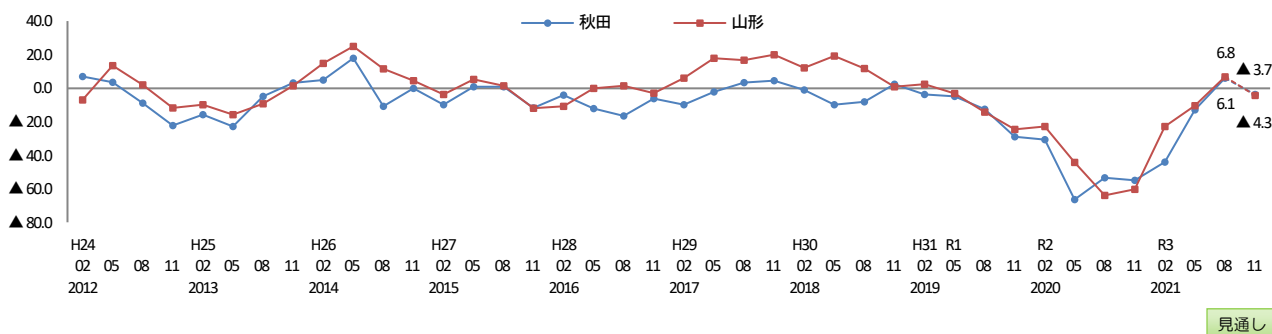
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
2020.08 (n=99)	▲ 33.3	▲ 17.7	▲ 34.0	▲ 24.2	▲ 27.2	▲ 25.2	21.3	▲ 1.0
2020.11 (n=97)	▲ 22.7	10.6	▲ 30.3	▲ 23.7	▲ 35.1	▲ 21.7	38.1	2.1
2021.02 (n=99)	▲ 8.1	14.6	▲ 27.9	▲ 9.1	▲ 14.2	▲ 24.2	32.3	6.1
2021.05 (n=102)	▲ 6.8	1.3	▲ 29.3	▲ 4.9	▲ 10.8	▲ 22.6	22.5	7.9
2021.08 (n=97)	▲ 5.1	(1.7)	▲ 19.6	▲ 9.3	▲ 17.5	▲ 3.1	40.2	5.2
前回調査比	-	-	-	(▲ 4.4)	(▲ 6.7)	(19.5)	(17.7)	(▲ 2.7)
先行き見通し	▲ 20.7	-	-	▲ 21.7	▲ 25.8	▲ 18.6	41.3	▲ 10.3
今回調査比	(▲ 15.6)	-	-	(▲ 12.4)	(▲ 8.3)	(▲ 15.5)	(1.1)	(▲ 15.5)

② 製造業

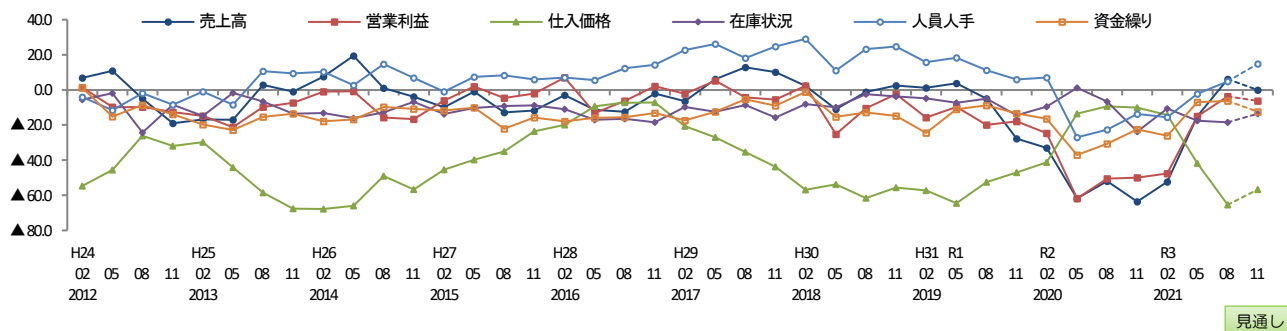
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は6.1（前回調査比18.9ポイント上昇）と3期連続で改善し、平成30年11月調査以来11期ぶりに「良い」超となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「仕入価格」と「在庫状況」が悪化した一方、「売上高」「営業利益」「資金繰り」は改善した。また、「人員人手」はマイナスが解消し、6期ぶりにプラスとなった。各社のコメントからみると、コロナ禍において依然多くの業種で受注の減少が続いているほか、総じて原材料費・燃料費の上昇による影響が見られたものの、電子部品や機械製造、自動車関連などでは持ち直しの動きが強まっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲3.7（今回調査比9.8ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 7 製造業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

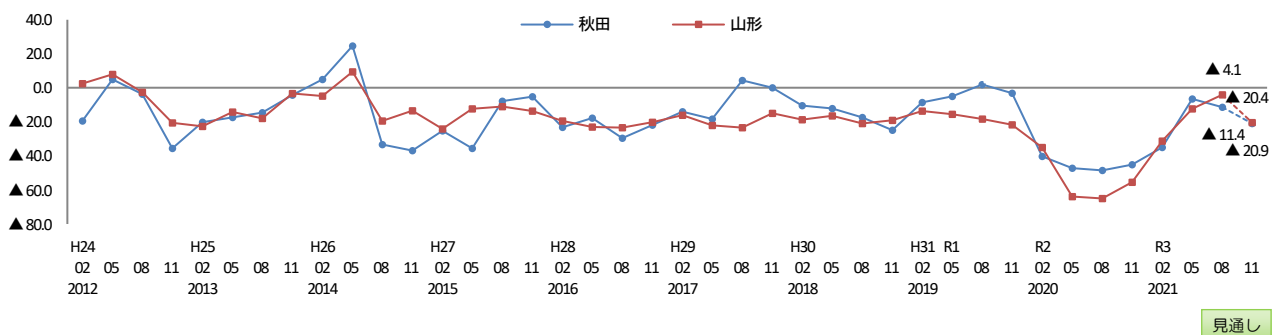
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り	
	前回調査比	前回調査予測							
2020.08 (n=75)	▲ 53.3	13.0	▲ 61.8	▲ 52.0	▲ 50.6	▲ 9.4	▲ 6.6	▲ 22.7	▲ 30.7
2020.11 (n=80)	▲ 55.0	▲ 1.7	▲ 57.3	▲ 63.7	▲ 50.0	▲ 10.0	▲ 23.8	▲ 13.8	▲ 22.5
2021.02 (n=84)	▲ 44.0	11.0	▲ 31.3	▲ 52.4	▲ 47.6	▲ 14.2	▲ 10.7	▲ 15.5	▲ 26.2
2021.05 (n=86)	▲ 12.8	31.2	▲ 35.7	▲ 15.1	▲ 15.1	▲ 41.8	▲ 17.5	▲ 2.3	▲ 7.0
2021.08 (n=81)	6.1	(18.9)	▲ 11.6	6.2	▲ 3.7	▲ 65.4	▲ 18.5	4.9	▲ 6.2
前回調査比	-	-	-	(21.3)	(11.4)	(▲ 23.6)	(▲ 1.0)	(7.2)	(0.8)
先行き見通し	▲ 3.7	-	-	0.0	▲ 6.2	▲ 56.8	▲ 13.6	14.8	▲ 12.4
今回調査比	(▲ 9.8)	-	-	(▲ 6.2)	(▲ 2.5)	(8.6)	(4.9)	(9.9)	(▲ 6.2)

③ 卸・小売業

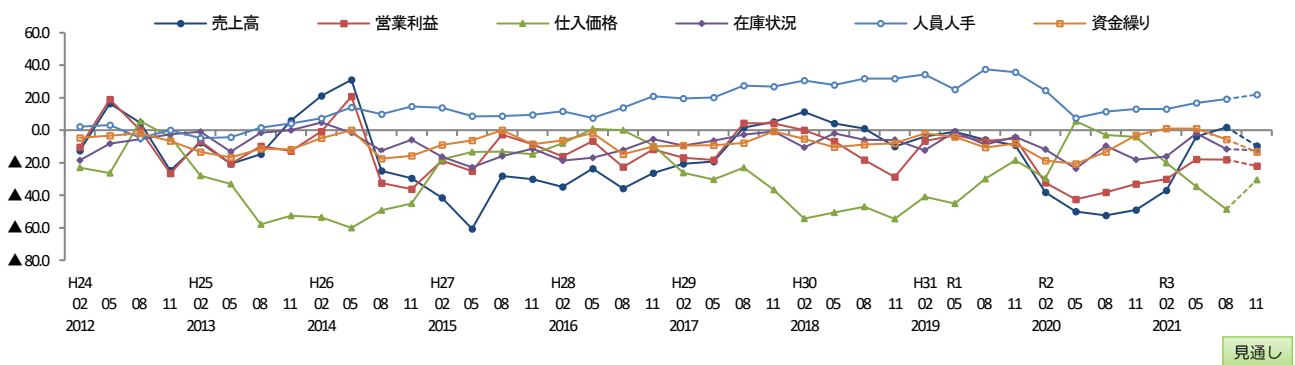
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲11.4（前回調査比 4.9 ポイント下落）と4期ぶりの悪化となった。「各種D I 値（前年同期比）」では、「売上高」が改善した一方、「仕入価格」や「在庫状況」などの4項目ではいずれも悪化となった。また、「人員人手」は2期連続でプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、総じてみれば新型コロナウイルス感染症の影響が残り、多くの業種で依然停滞感がうかがえる一方、スーパー販売や家電販売など一部では引き続き堅調な動きが続いている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲20.9（今回調査比 9.5 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

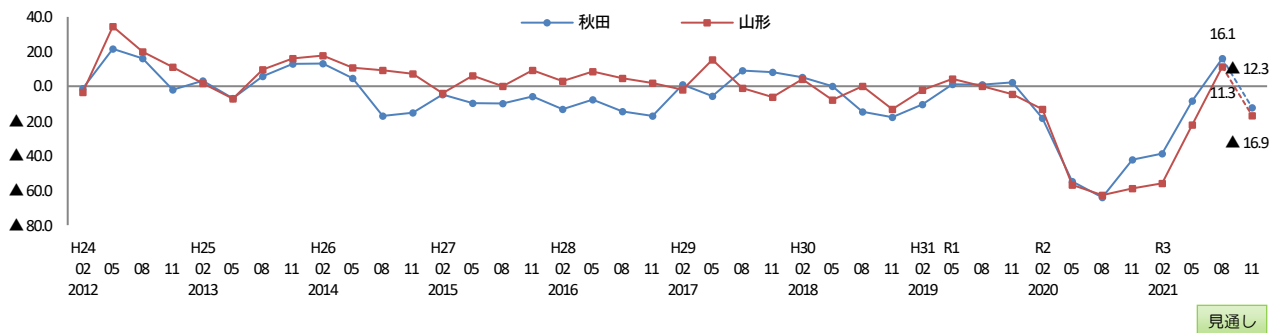
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
2020.08 (n=105)	▲ 48.5	▲ 1.3	▲ 65.1	▲ 52.4	▲ 38.1	▲ 2.8	▲ 9.6	11.5	▲ 13.4
2020.11 (n=100)	▲ 45.0	3.5	▲ 52.3	▲ 49.0	▲ 33.0	▲ 4.0	▲ 18.0	13.0	▲ 3.0
2021.02 (n=100)	▲ 35.0	10.0	▲ 32.0	▲ 37.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 16.0	13.0	1.0
2021.05 (n=107)	▲ 6.5	28.5	▲ 34.0	▲ 3.8	▲ 17.8	▲ 34.6	▲ 1.8	16.8	1.0
2021.08 (n=105)	▲ 11.4	(▲ 4.9)	▲ 28.0	1.9	▲ 18.1	▲ 48.6	▲ 11.5	19.1	▲ 5.7
前回調査比	-	-	-	(5.7)	(▲ 0.3)	(▲ 14.0)	(▲ 9.7)	(2.3)	(▲ 6.7)
先行き見通し	▲ 20.9	-	-	▲ 9.5	▲ 21.9	▲ 30.5	▲ 12.4	21.9	▲ 13.3
今回調査比	(▲ 9.5)	-	-	(▲ 11.4)	(▲ 3.8)	(18.1)	(▲ 0.9)	(2.8)	(▲ 7.6)

④ サービス業

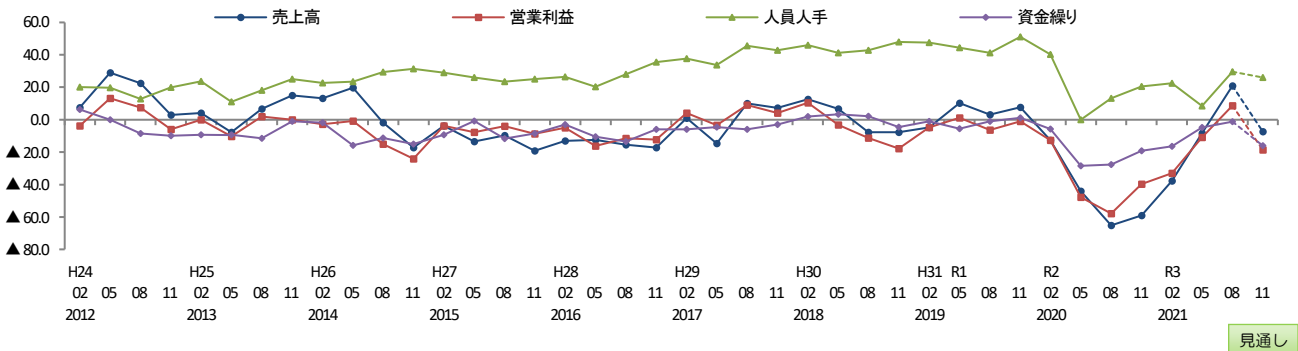
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は 16.1（前回調査比 24.5 ポイント上昇）と大幅に改善して 4 期連続での改善となり、令和元年 11 月調査以来 7 期ぶりの「良い」超となった。「各種D I 値（前年同期比）」でみると、すべての項目が改善し、「人員人手」も 2 期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントからみると、飲食店やレジャー関係では引き続き厳しい状況が続いている一方、宿泊関係では自治体の助成の影響などもあり前年を上回る動きが見られたほか、建機レンタルでは回復感がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲12.3（今回調査比 28.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



図表 11 サービス業「各種D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
2020.08 (n=83)	▲ 63.9	▲ 9.2	▲ 61.9	▲ 65.1	▲ 57.9	13.2	▲ 27.7
2020.11 (n=78)	▲ 42.3	21.6	▲ 60.2	▲ 59.0	▲ 39.7	20.5	▲ 19.2
2021.02 (n=85)	▲ 38.8	3.5	▲ 35.9	▲ 37.7	▲ 32.9	22.4	▲ 16.5
2021.05 (n=83)	▲ 8.4	30.4	▲ 54.1	▲ 8.4	▲ 10.8	8.4	▲ 4.8
2021.08 (n=81)	16.1	(24.5)	▲ 31.4	20.9	8.6	29.6	▲ 1.2
前回調査比	-	-	-	(29.3)	(19.4)	(21.2)	(3.6)
先行き見通し	▲ 12.3	-	-	▲ 7.4	▲ 18.6	25.9	▲ 16.1
今回調査比	(▲ 28.4)	-	-	(▲ 28.3)	(▲ 27.2)	(▲ 3.7)	(▲ 14.9)

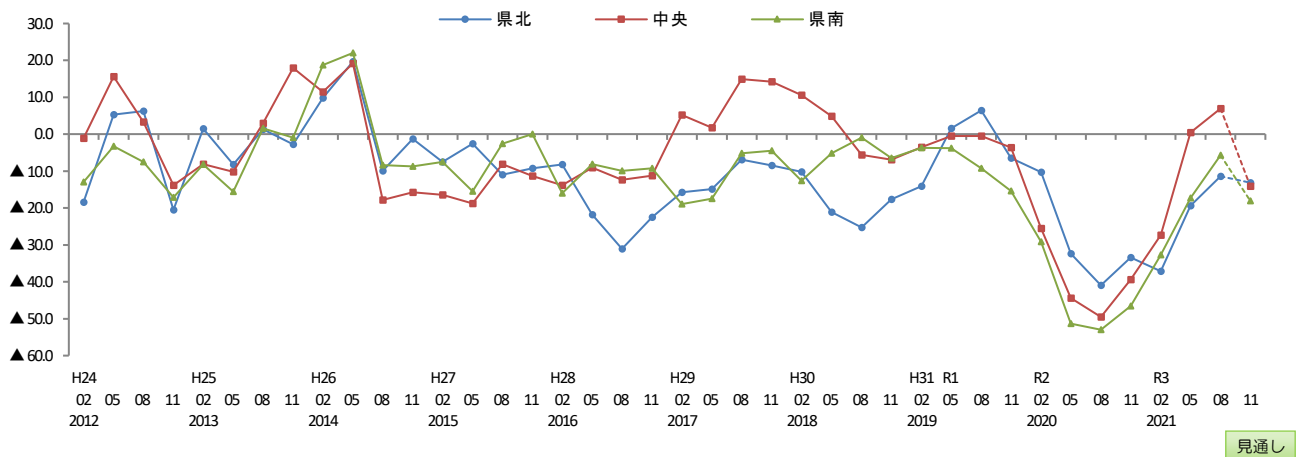
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、県北が▲11.4（前回調査比 8.0 ポイント上昇）、中央が7.0（同 6.5 ポイント上昇）、県南が▲5.7（同 11.6 ポイント上昇）とすべての地域で改善となり、中央ではプラス幅が拡大した。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、すべての地域で悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			
	全地域	県北	中央	県南
2020.08 (n=362)	▲ 48.9	▲ 40.9	▲ 49.5	▲ 53.0
2020.11 (n=355)	▲ 40.6	▲ 33.4	▲ 39.4	▲ 46.6
2021.02 (n=368)	▲ 30.7	▲ 37.1	▲ 27.3	▲ 32.7
2021.05 (n=378)	▲ 8.5	▲ 19.4	0.5	▲ 17.3
2021.08 (n=364)	0.2	▲ 11.4	7.0	▲ 5.7
前回調査比	(8.7)	(8.0)	(6.5)	(11.6)
先行き見通し	▲ 15.1	▲ 13.1	▲ 14.1	▲ 18.1
今回調査比	(▲ 15.3)	(▲ 1.7)	(▲ 21.1)	(▲ 12.4)

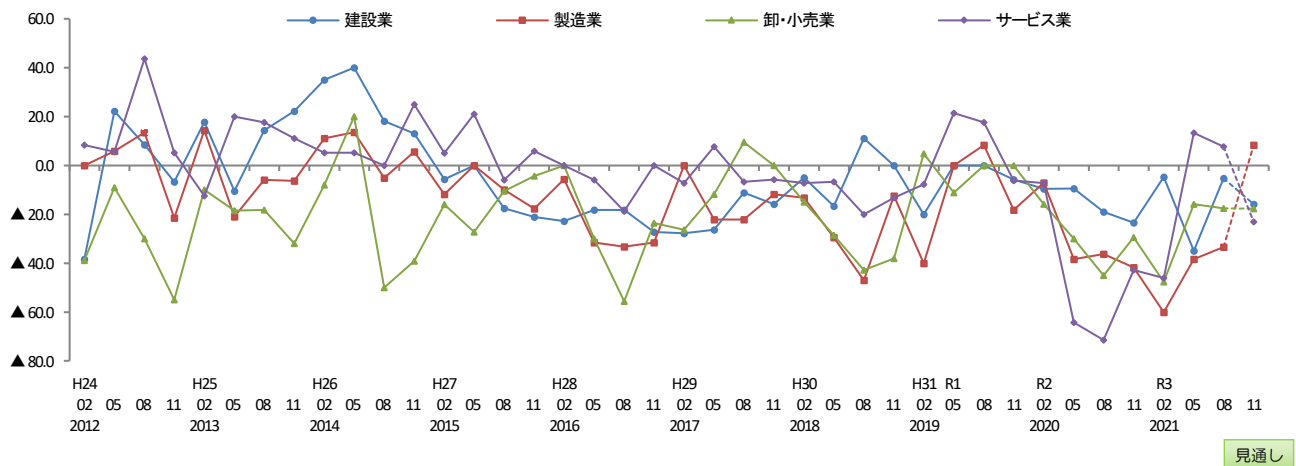
(2) 地域別 D I 値の動向

① 県北

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲11.4（前回調査比 8.0 ポイント上昇）と 2 期連続での改善となった。業種別では、卸・小売業とサービス業が悪化となった一方、建設業と製造業はともに改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲13.1（今回調査比 1.7 ポイント下落）と小幅ながら悪化が見込まれている。業種別では、製造業で大幅な改善が見込まれている一方、その他の 3 業種では悪化が見込まれている。

図表 13 県北業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

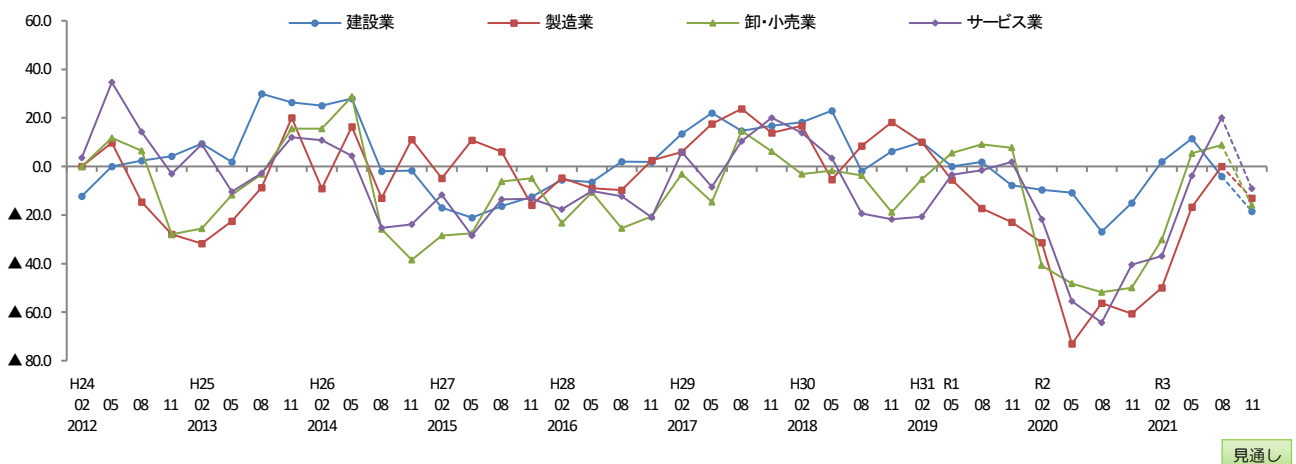
県北 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2020.08 (n=66)	▲ 40.9	▲ 19.0	▲ 36.3	▲ 45.0	▲ 71.4
2020.11 (n=60)	▲ 33.4	▲ 23.5	▲ 41.7	▲ 29.4	▲ 42.8
2021.02 (n=70)	▲ 37.1	▲ 4.8	▲ 60.0	▲ 47.6	▲ 46.1
2021.05 (n=67)	▲ 19.4	▲ 35.0	▲ 38.4	▲ 15.8	13.3
2021.08 (n=61)	▲ 11.4	▲ 5.3	▲ 33.4	▲ 17.6	7.7
前回調査比	(8.0)	(29.7)	(5.0)	(▲ 1.8)	(▲ 5.6)
先行き見通し	▲ 13.1	▲ 15.8	8.3	▲ 17.7	▲ 23.1
今回調査比	(▲ 1.7)	(▲ 10.5)	(41.7)	(▲ 0.1)	(▲ 30.8)

② 中央

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 7.0（前回調査比 6.5 ポイント上昇）と 4 期連続で改善となり、プラス幅が拡大した。業種別では、建設業が悪化となった一方、その他の 3 業種では改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲14.1（今回調査比 21.1 ポイント下落）と悪化が見込まれている。業種別では、4 業種すべてで悪化が見込まれている。

図表 14 中央業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

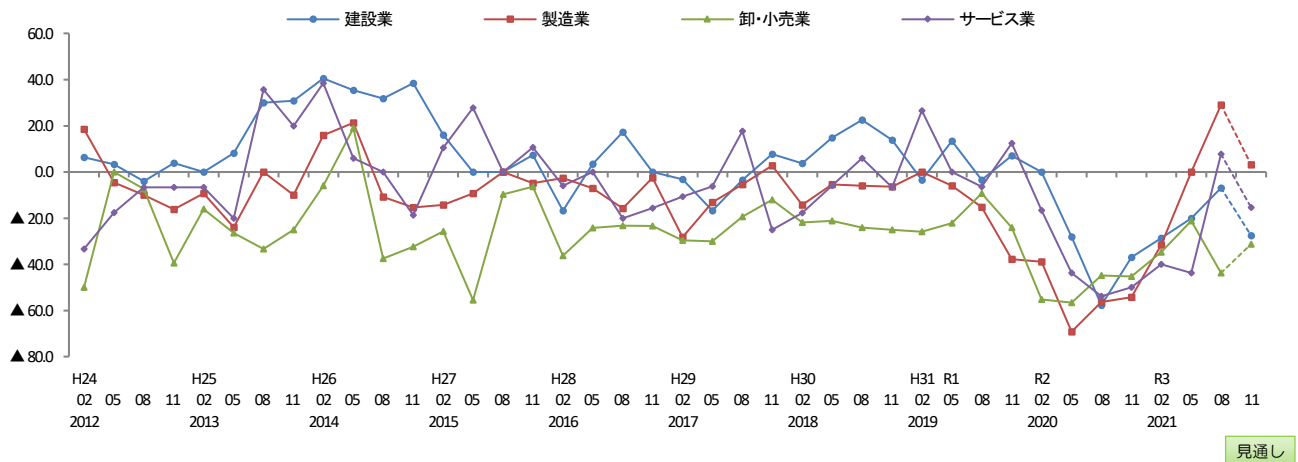
中 央 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2020.08 (n=196)	▲ 49.5	▲ 26.9	▲ 56.3	▲ 51.8	▲ 64.3
2020.11 (n=190)	▲ 39.4	▲ 15.0	▲ 60.6	▲ 50.0	▲ 40.4
2021.02 (n=194)	▲ 27.3	2.0	▲ 50.0	▲ 30.2	▲ 36.9
2021.05 (n=195)	0.5	11.5	▲ 16.7	5.4	▲ 3.8
2021.08 (n=198)	7.0	▲ 4.1	0.0	8.9	20.0
前回調査比	(6.5)	(▲ 15.6)	(16.7)	(3.5)	(23.8)
先行き見通し	▲ 14.1	▲ 18.4	▲ 13.1	▲ 16.0	▲ 9.1
今回調査比	(▲ 21.1)	(▲ 14.3)	(▲ 13.1)	(▲ 24.9)	(▲ 29.1)

③ 県南

「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」は▲5.7 (前回調査比 11.6 ポイント上昇) と 4 期連続で改善となった。業種別にみると、卸・小売業は悪化となった一方、その他の 3 業種では改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲18.1 (今回調査比 12.4 ポイント下落) と悪化が見込まれている。業種別では、卸・小売業では改善が見込まれる一方、その他の 3 業種では悪化の見通しとなっている。

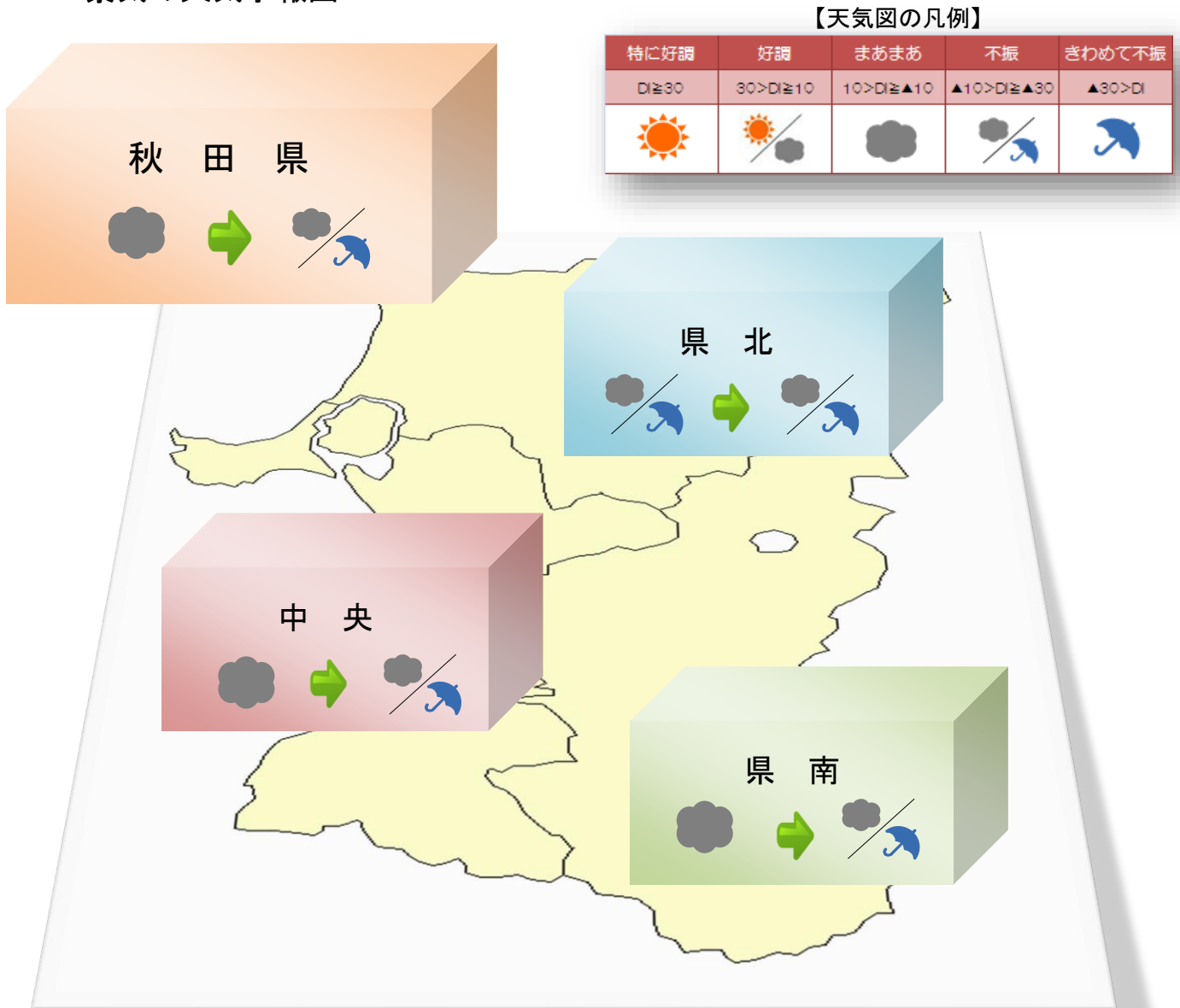
図表 15 県南業種別「自社業況 D I 値 (前年同期比)」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

県南 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
2020.08 (n=100)	▲ 53.0	▲ 57.7	▲ 56.3	▲ 44.8	▲ 53.8
2020.11 (n=105)	▲ 46.6	▲ 37.0	▲ 54.3	▲ 45.2	▲ 50.0
2021.02 (n=104)	▲ 32.7	▲ 28.6	▲ 31.5	▲ 34.7	▲ 40.0
2021.05 (n=116)	▲ 17.3	▲ 20.0	0.0	▲ 21.2	▲ 43.7
2021.08 (n=105)	▲ 5.7	▲ 6.9	29.0	▲ 43.8	7.7
前回調査比	(11.6)	(13.1)	(29.0)	(▲ 22.6)	(51.4)
先行き見通し	▲ 18.1	▲ 27.6	3.2	▲ 31.3	▲ 15.4
今回調査比	(▲ 12.4)	(▲ 20.7)	(▲ 25.8)	(12.5)	(▲ 23.1)

Ⅱ. 景気の天気予報図



今期の概況

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				



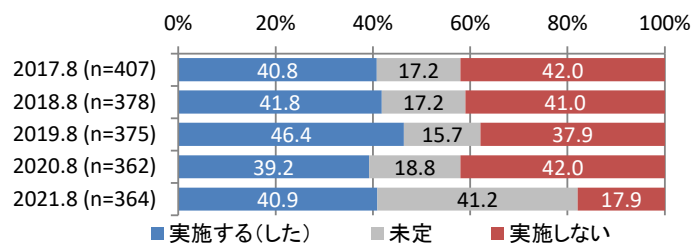
Ⅲ. 特別調査

1. 今年度の設備投資動向

(1) 設備投資動向

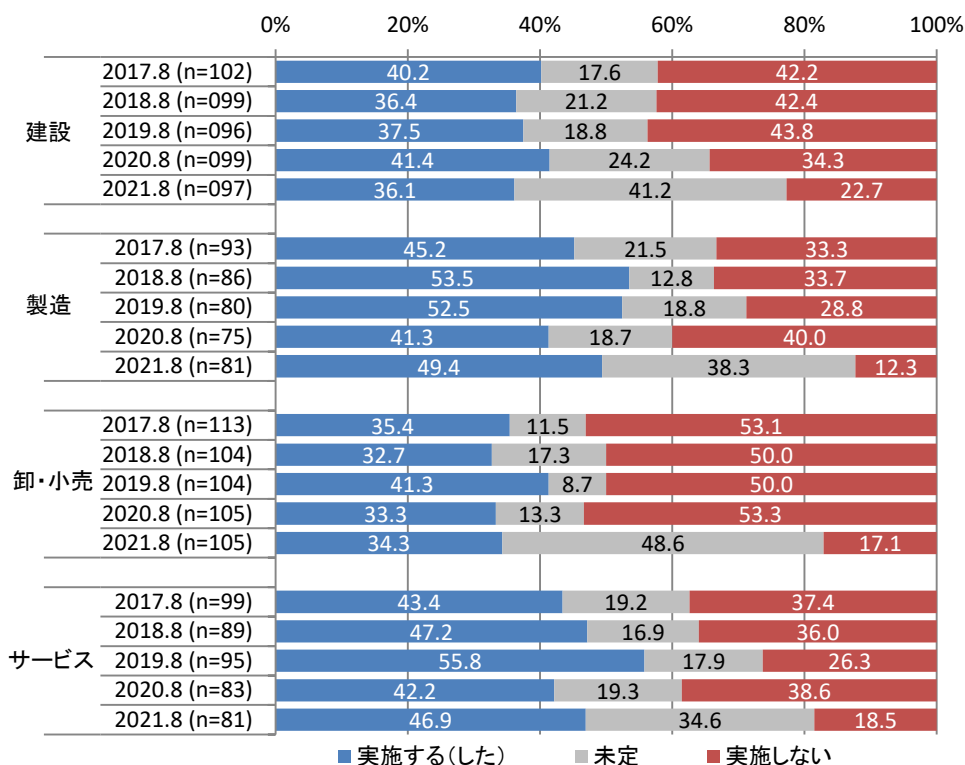
今年度中に設備投資を「実施する(した)」と回答した企業の割合は40.9%(昨年度比1.7ポイント上昇)と、2期ぶりに上昇した。一方、「実施しない」企業の割合は17.9%(同24.1ポイント低下)と2期ぶりに低下した。また、「未定」企業の割合は41.2%(同22.4ポイント上昇)と大幅に上昇した。

図表 16 「設備投資動向」の推移



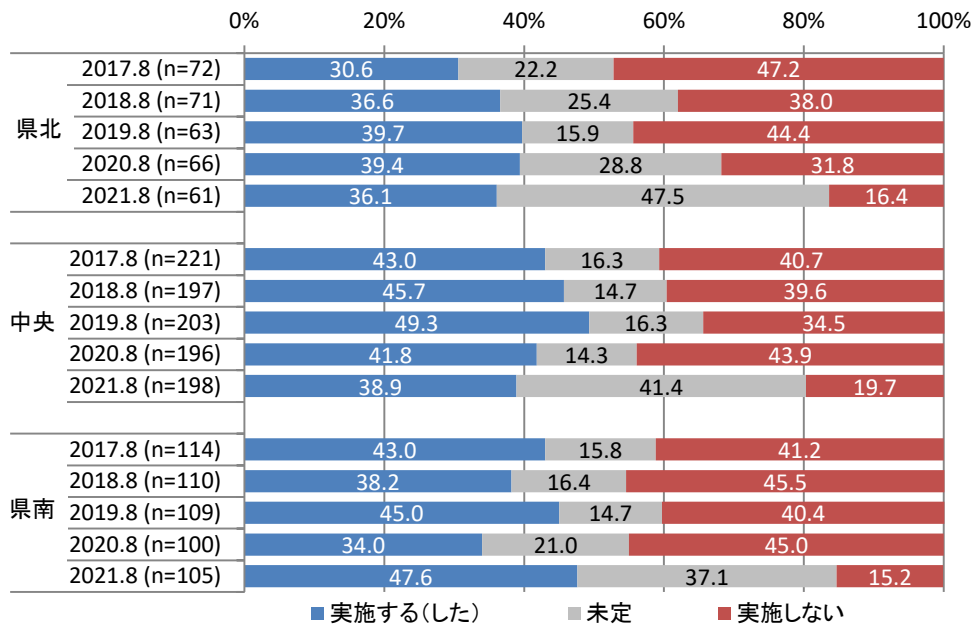
業種別にみると、設備投資を「実施する(した)」と回答した企業の割合は、建設業で低下した一方、その他の3業種ではいずれも上昇となった。最も割合が高いのは製造業で、49.4%(昨年度比8.1ポイント上昇)と5割近くとなった。

図表 17 業種別「設備投資動向」の推移



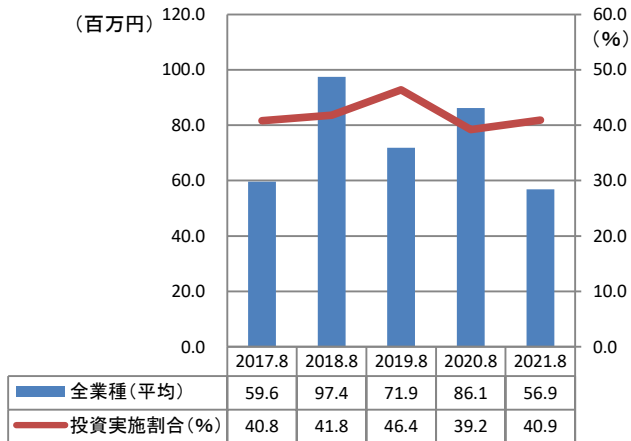
地域別にみると、設備投資を「実施する(した)」と回答した企業の割合は、県南では47.6%(昨年度比13.6ポイント上昇)と上昇した一方、県北と中央では小幅ながら低下した。

図表 18 地域別「設備投資動向」の推移



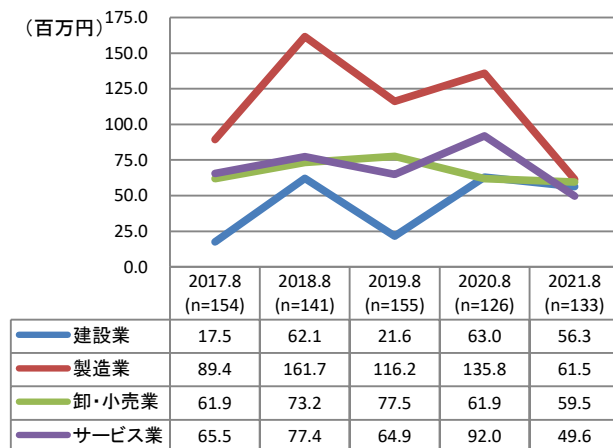
(2) 設備投資金額

図表 19 全業種「設備投資金額と実施割合」の推移



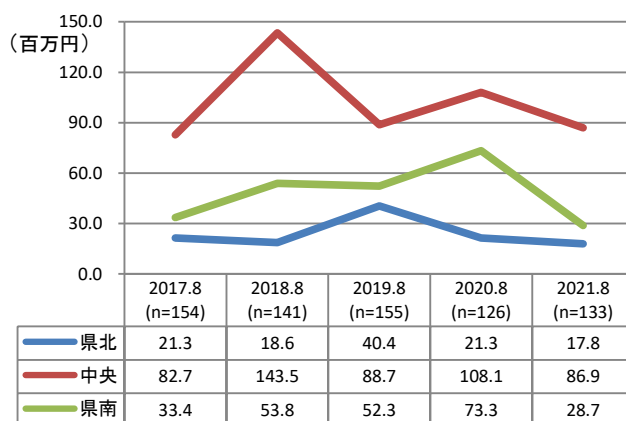
設備投資を「実施する(した)」と回答した企業に投資額を尋ねたところ、1社あたり平均投資額(予定含む)は5,690万円で、昨年度の調査時点に比べて2,920万円減少した。

図表 20 業種別「設備投資金額」の推移



1社あたり平均投資額を業種別にみると、建設業では5,630万円(昨年度調査比670万円減)、製造業では6,150万円(同7,430万円減)、卸・小売業では5,950万円(同240万円減)、サービス業では4,960万円(同4,240万円減)と、すべての業種で減少となった。

図表 21 地域別「設備投資金額」の推移



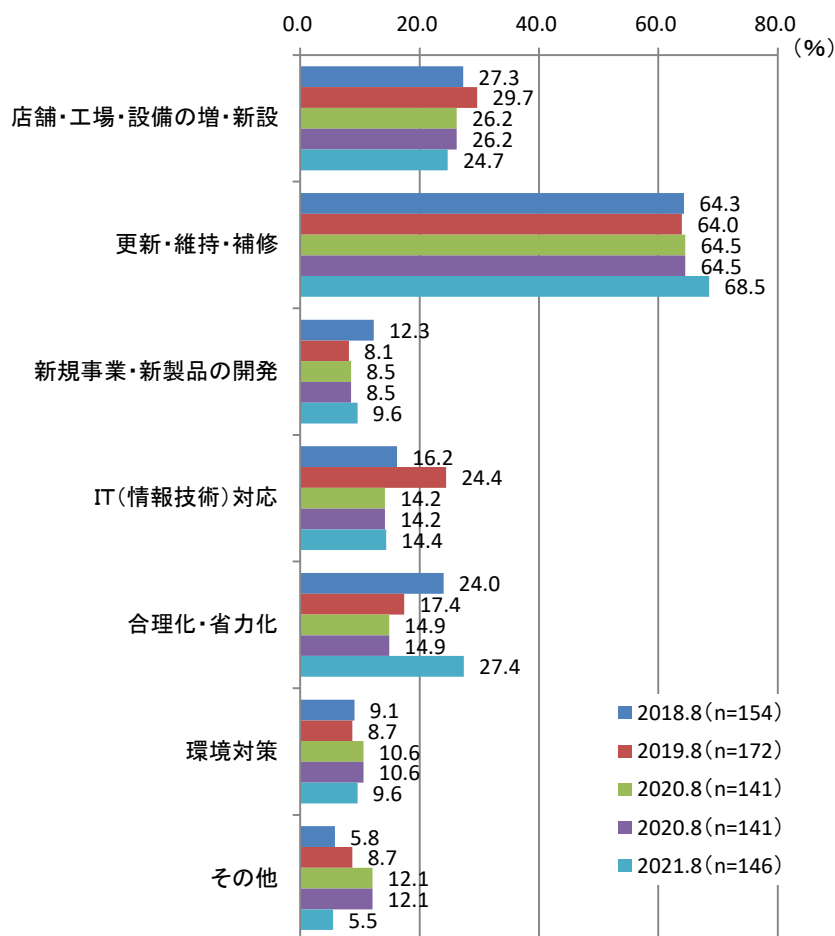
1社あたり平均投資額を地域別にみると、県北では1,780万円(昨年度調査比350万円減)、中央では8,690万円(同2,120万円減)、県南では2,870万円(同4,460万円減)とすべての地域で減少した。

(3) 設備投資目的

設備投資の主な目的について尋ねたところ（複数回答）、回答した企業の割合が最も高かったのは「更新・維持・補修」の68.5%で、次いで「合理化・省力化」が27.4%で続き、以下は「店舗・工場・設備の増・新設」（24.7%）、「IT（情報技術）対応」（14.4%）、「新規事業・新製品の開発」と「環境対策」（各9.6%）の順となり、前年の第2位と第3位の項目が入れ替わるなど、順位に変化が見られた。

投資目的別に割合の推移をみると、「その他」を除く項目のうち、1位の「更新・維持・補修」や2位の「合理化・省力化」など4項目では前年に比べて割合が上昇した。

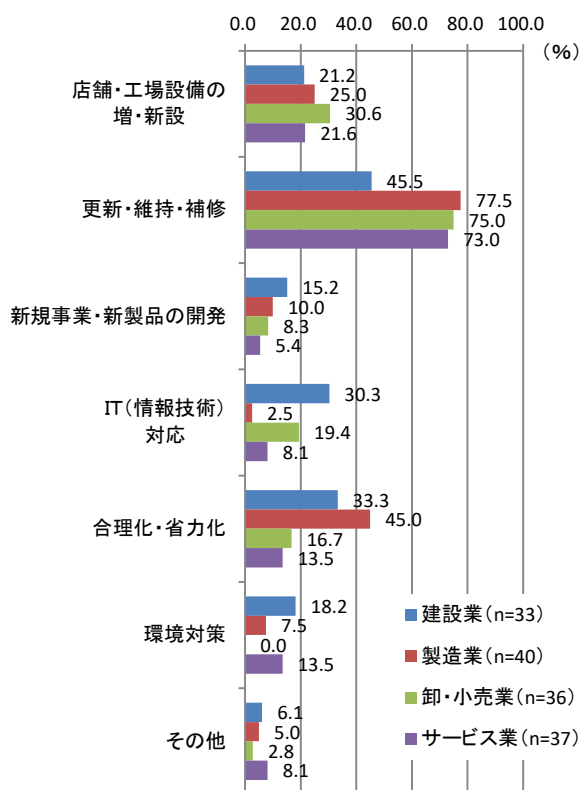
図表 22 「設備投資の目的」の推移（複数回答）



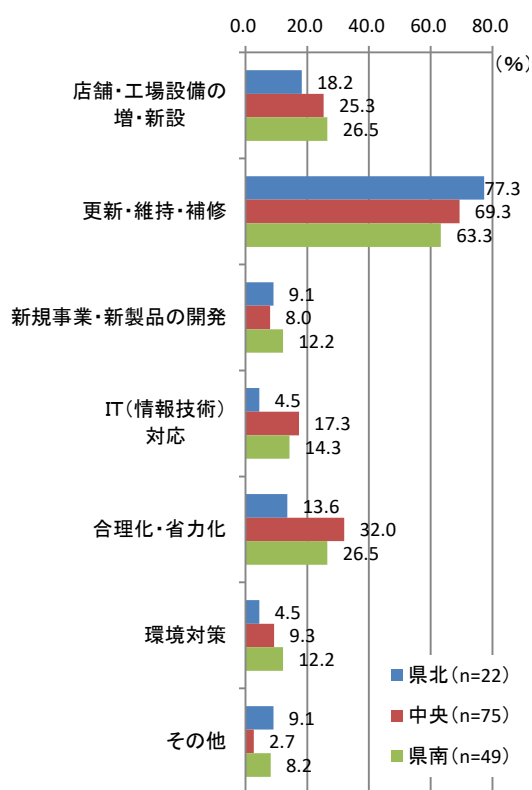
業種別にみると、「更新・維持・補修」と回答した企業の割合は製造業、卸・小売業、サービス業で7割台となるなど、すべての業種で最も高くなっている。これに続く設備投資の目的は、建設業と製造業では「合理化・省力化」となった一方、卸・小売業とサービス業では「店舗・工場設備の増・新設」となるなど、業種によって違いが見られた。

地域別にみても、すべての地域で「更新・維持・補修」と回答した企業の割合が最も高くなっている。

図表 23 業種別「設備投資の目的」の推移（複数回答）



図表 24 地域別「設備投資の目的」の推移（複数回答）



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	22	17	24	19	82
中央	65	50	69	76	260
県南	36	51	40	20	147
合計	123	118	133	115	489

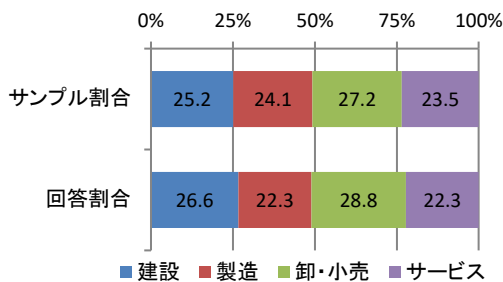
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	19	12	17	13	61
中央	49	38	56	55	198
県南	29	31	32	13	105
合計	97	81	105	81	364

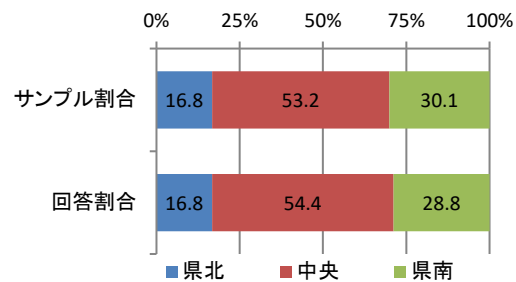
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	86.4	70.6	70.8	68.4	74.4
中央	75.4	76.0	81.2	72.4	76.2
県南	80.6	60.8	80.0	65.0	71.4
合計	78.9	68.6	78.9	70.4	74.4

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

2021年8月2日（月）～17日（火）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、潟上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢 (択一方式)		
自社の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製 (商) 品の仕入価格 (卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる。

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<https://www.fir.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研 秋田事業所 地域政策コンサルティング部 後藤/佐藤

・ 秋田事業所

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店 3F

TEL : 018-837-1727 Fax : 018-834-5508

・ 山形支社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F

TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp

URL : <https://www.fir.co.jp/>